

基準 1 使命・目的等	評価の視点	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	自己点検・評価委員会 評価 ※プルダウンより選択						備考
	1-1 使命・目的及び教育目的の設定			評価担当者	総合評価	年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①意味・内容の具体性と明確性	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的を具体的に明文化しているか。 【備考】	向井	B					
	②簡潔な文章化	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的を簡潔に文章化しているか。 【備考】	向井	A					
	③個性・特色の明示	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的に大学の個性・特色を反映し、大学案内等に明示しているか。 【備考】	向井	B					
	④変化への対応	事務局総務 G	社会情勢などに対応し、必要に応じて使命・目的及び教育目的の見直しを行っているか。 【備考】	向井	B					
	基準項目全体に関わる自己判定の留意点	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的が、掲載する媒体により異なる表現となっている場合、その趣旨が一貫したものとなっているか。 【備考】	向井	A					
	1-2 使命・目的及び教育目的の反映	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①役員、教職員の理解と支持	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的の策定などに役員、教職員が関与・参画しているか。 【備考】	千原	A	B	B	B	B	PDCA評価はされていないが留意点は満たしている。
	②学内外への周知	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的をどのように学内外に周知しているか。 【備考】	千原	A	B	B	B	B	PDCA評価はされていないが留意点は満たしている。
	③中長期的な計画への反映	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的を中長期的な計画に反映させているか。 【備考】	千原	A	B	B	B	B	PDCA評価はされていないが留意点は満たしている。
	④三つのポリシーへの反映	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的を三つのポリシーに反映させているか。 【備考】	千原	A	B	B	B	B	PDCA評価はされていないが留意点は満たしている。
	⑤教育研究組織の構成との整合性	事務局総務 G	使命・目的及び教育目的を達成するために必要な学部・学科の教育研究組織を整備しているか。 【備考】	千原	A	B	B	B	B	PDCA評価はされていないが留意点は満たしている。
基準 2 学生	2-1 学生の受入れ	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知	入学者選抜委員会	教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。 【備考】	千原	A	B	B	B	B	PDCA評価はされていないが留意点は満たしている。
	②アドミッション・ポリシーに沿った入学者受け入れの実施とその検証	入学者選抜委員会	アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用し検証を行っているか。 【備考】	千原	B	B	B	B	B	アドミッションポリシーの言及がない。
	③入学定員に沿った適切な学生受入数の維持	入学者選抜委員会	教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。 【備考】	千原	B	B	B	B	B	学生定員の確保困難な学科が散見される。
	基準項目全体に関わる自己判定の留意点	入学者選抜委員会	入試問題の作成は、大学自ら行っているか。 【備考】	千原	A	C	C	C	C	PDCA評価はされていないが留意点は満たしている。
	2-2 学修支援	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備	保健医療学部 教務委員会	教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。 【備考】	石橋・田中	B	C	A	A	A	2022書式が異なるため、対比できない。
	①教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備	総合福祉学部 教務委員会	教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。 【備考】	石橋・田中	B	A	B	B	C	
	②-1 TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	保健医療学部 教務委員会	障がいのある学生への配慮を行っているか。 【備考】	石橋・田中	A	A	A	A	A	教務ではなく、保健管理委員会管轄である。
	②-1 TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	総合福祉学部 教務委員会	障がいのある学生への配慮を行っているか。 【備考】	石橋・田中	B	A	B	B	B	
	②-2 TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	保健医療学部 教務委員会	オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。 【備考】	石橋・田中	B	B	A	A	A	仕組みはできているが、全教員の入力は確認できない。
	②-2 TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	総合福祉学部 教務委員会	オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。 【備考】	石橋・田中	C	A	C	C	C	
	②-3 TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	保健医療学部 教務委員会	教員の教育活動を支援するために、TA などを適切に活用しているか。 【備考】	石橋・田中	C	C	C	C	C	TAの活用については、文言が確認できない。 FD活動について、FD委員会が管轄
	②-3 TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	総合福祉学部 教務委員会	教員の教育活動を支援するために、TA などを適切に活用しているか。 【備考】	石橋・田中	A	A	B	B	B	
	②-4 TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	保健医療学部 教務委員会	中途退学、休学及び留年への対策を行っているか。 【備考】	石橋・田中	C	C	B	B	C	仮進級制度、転学部・転学科について、具体的な明記が不十分（保健医療学部における転学部制度の記録）である。
	②-4 TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	総合福祉学部 教務委員会	中途退学、休学及び留年への対策を行っているか。 【備考】	石橋・田中	B	A	B	B	B	
	2-3 キャリア支援	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①-1 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備	キャリアセンター	インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。 【備考】	向井	B	A	B	B	B	
	①-2 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備	キャリアセンター	就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。 【備考】	向井	A	A	A	B	B	
	2-4 学生サービス	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①-1 学生生活の安定のための支援	保健医療学部 学生委員会	奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。 【備考】	林	B	A	A	B	B	委員会が関わる奨学金案件は無いが、これに対する評価や改善点の記載が無い。
	①-1 学生生活の安定のための支援	総合福祉学部 学生委員会	奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。 【備考】	林	B	A	A	B	B	同上。
	①-2 学生生活の安定のための支援	保健医療学部 学生委員会	学生の課外活動への支援を適切に行っているか。 【備考】	林	B	B	A	B	B	地域イベントのボランティアの支援を行っているが、これに対する評価や改善点がない。
	①-2 学生生活の安定のための支援	総合福祉学部 学生委員会	学生の課外活動への支援を適切に行っているか。 【備考】	林	B	B	B	B	B	同上。
	②学生の心身に関する健康管理、学生相談、生涯等のある学生への合理的配慮	保健管理委員会	学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。 【備考】	林	B	A	A	A	B	学生の相談対応について、報告書には細かく記載があるが、これに対する改善点の記載がない。
	2-5 学修環境の整備	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理	事務局総務 G	教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。 【備考】	井上	B	B	B	B	B	大学環境安全組織体制の概要に関する記載は無い
	②-1 実習施設、図書館等の有効活用	図書・学術振興委員会	教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。 【備考】	井上	B	B	B	B	B	図書館の有効活用評価の記載が不十分。年間貸出総数のみでなく月間利用状況等の記載も必要と考える
	②-2 実習施設、図書館等の有効活用	図書・学術振興委員会	適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。 【備考】	井上	B	B	B	B	B	視聴覚教材の利用状況等の記載は無い 学科別に利用状況分析も必要ではないか
	②-3 実習施設、図書館等の有効活用	図書・学術振興委員会	教育目的の達成のため、コンピュータなどのI2T環境を適切に整備しているか。 【備考】	井上	C	C	C	C	C	図書館におけるICT教育に関する記載は無い
	③バリアフリーをはじめとする施設・設備の利便性	事務局総務 G	施設・設備の利便性バリアフリーなどに配慮しているか。 【備考】	井上	B	B	B	B	B	
	④新型コロナウイルス感染症への対策に伴う学修環境の整備	事務局総務 G	コロナ禍において感染拡大防止対策等を講じ、安心・安全な学習環境の維持に努めているか。 【備考】	井上	C	C	C	C	C	コロナ禍における感染防止対策の記載は無い
	⑤授業を行う学生数の適切な管理	事務局総務 G	授業を行う学生数クラスサイズなどは教育効果を十分挙げられるような人数となっているか。 【備考】	井上	C	C	C	C	C	クラス分け少人数教育の記載のみ。他、看護学科150名 学生の講義室の様々な課題と対策等、記載無い
	2-6 学生の意見・要望への対応	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①学修支援に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用	保健医療学部 学生委員会	学修支援に関する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。 【備考】	林	B	B	B	C	C	学生アンケートの実施と記載があるが、学修支援・学生生活・施設・設備に対する設問があるのか不明。また、アンケート内容の結果やフィードバックの記載がない。
	①学修支援に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用	総合福祉学部 学生委員会	学修支援に関する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。 【備考】	林	B	B	B	C	C	同上。

		②心身に関する健康相談に関する学生の意見・要望の把握・分析の検討結果の活用	保健医療学部 学生委員会	学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。 【備考】	林	B	B	B	C	C	同上。
		②心身に関する健康相談に関する学生の意見・要望の把握・分析の検討結果の活用	総合福祉学部 学生委員会	学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。 【備考】	林	B	B	B	C	C	同上。
		②心身に関する健康相談に関する学生の意見・要望の把握・分析の検討結果の活用	保健管理委員会	学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。 【備考】	林	B	B	A	B	B	障害学生支援の支援申請書が提出された学生への面談が該当するが、運営に対する評価及び改善策の記載なし。
		③学修環境に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用	保健医療学部 学生委員会	施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。 【備考】	林	B	B	B	C	C	2つ上と同じ。※（保健医療学部のみ）学生の要望により、女子ロッカー室出入口にカーテンを設置した。
		③学修環境に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用	総合福祉学部 学生委員会	施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。 【備考】	林	B	B	B	C	C	同上。
基準 3 教育課程	3-1 単位認定、卒業認定、修了認定	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考	
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善		
	①教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーの策定と周知	保健医療学部 教務委員会	教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。 【備考】	滋野・織田	B	A	A	B	B	5学科DPは大学HP学生募集要項、履修の手引きに記載されているが、保健医療学部のDPは履修の手引きに明記されていない	
	①教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーの策定と周知	総合福祉学部 教務委員会	教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。 【備考】	滋野・織田	A	A	A	A	A		
	②ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の策定と周知	保健医療学部 教務委員会	ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、周知しているか。 【備考】	滋野・織田	A	A	A	A	B	年報第9号 p38「各教科目の成績表方法は、科目責任者によって履修の手引きに明記…」とあるが、シラバスではない B→成績データ収集・分析・公開について引き続き検討中	
	②ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の策定と周知	総合福祉学部 教務委員会	ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、周知しているか。 【備考】	滋野・織田	A	A	A	A	A		
	③単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の厳正な適用	保健医療学部 教務委員会	ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を厳正に適用しているか。 【備考】	滋野・織田	A	A	A	A	A		
	③単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の厳正な適用	総合福祉学部 教務委員会	ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を厳正に適用しているか。 【備考】	滋野・織田	A	A	A	A	A		
	3-2 教育課程及び教授方法	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考	
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善		
	①カリキュラム・ポリシーの策定と周知	保健医療学部 教務委員会	教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。 【備考】	福山・松浦	A	C	C	C	C		
	①カリキュラム・ポリシーの策定と周知	総合福祉学部 教務委員会	教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。 【備考】	福山・松浦	A	A	A	A	A	開設当初と変更なし	
	②カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの一貫性	保健医療学部 教務委員会	カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの一貫性を確保しているか。 【備考】	福山・松浦	A	C	C	C	C		
	②カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの一貫性	総合福祉学部 教務委員会	カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの一貫性を確保しているか。 【備考】	福山・松浦	A	A	A	A	A	開設当初と変更なし	
	③-1 カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成	保健医療学部 教務委員会	カリキュラム・ポリシーに沿った体系的な教育課程を編成し、実施しているか。 【備考】	福山・松浦	A	C	C	C	C		
	③-1 カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成	総合福祉学部 教務委員会	カリキュラム・ポリシーに沿った体系的な教育課程を編成し、実施しているか。 【備考】	福山・松浦	A	A	A	A	A	開設当初と変更なし	
	③-2 カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成	保健医療学部 教務委員会	シラバスを適切に整備しているか。 【備考】	福山・松浦	A	C	C	C	C		
	③-2 カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成	総合福祉学部 教務委員会	シラバスを適切に整備しているか。 【備考】	福山・松浦	A	A	A	A	A	AC期間のため変更を行わないが課題は共有している。	
	③-3 カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成	保健医療学部 教務委員会	履修登録単位数上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫を行っているか。 【備考】	福山・松浦	C	C	C	C	C	記載なし	
	③-3 カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成	総合福祉学部 教務委員会	履修登録単位数上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫を行っているか。 【備考】	福山・松浦	B	B	B	B	B	記載はないが、設置計画通りに履行されている。	
	④教養教育の実施	保健医療学部 教務委員会	教養教育を適切に実施しているか。 【備考】	原田・伊藤	B	A	A	C	C		
	④教養教育の実施	総合福祉学部 教務委員会	教養教育を適切に実施しているか。 【備考】	原田・伊藤	A	A	A	A	A	AC期間中であるので変更はないが、課題は共有中	
	⑤-1 教授方法の工夫・開発と効果的な実施	保健医療学部 教務委員会	アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法を工夫しているか。 【備考】	原田・伊藤	B	A	A	C	C		
	⑤-1 教授方法の工夫・開発と効果的な実施	総合福祉学部 教務委員会	アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法を工夫しているか。 【備考】	原田・伊藤	A	A	A	A	A	AC期間中であるので変更はないが、課題は共有中	
	⑤-2 教授方法の工夫・開発と効果的な実施	保健医療学部 教務委員会	教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。 【備考】	原田・伊藤	B	A	A	C	C		
	⑤-2 教授方法の工夫・開発と効果的な実施	総合福祉学部 教務委員会	教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。 【備考】	原田・伊藤	A	A	A	A	A	AC期間中であるので変更はない。	
	3-3 学修成果の点検・評価	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考	
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善		
	①-1 三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用	保健医療学部 教務委員会	三つのポリシーのうち、特にディプロマ・ポリシーを踏まえた学修成果を明示しているか。 【備考】	原田・伊藤	B	B	B	C	C		
	①-1 三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用	総合福祉学部 教務委員会	三つのポリシーのうち、特にディプロマ・ポリシーを踏まえた学修成果を明示しているか。 【備考】	原田・伊藤	A	A	A	A	A	AC期間中であるので変更はない	
	①-2 三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用	保健医療学部 教務委員会	学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、卒業時の満足度調査、就職先の企業アンケートなどを実施し、大学が定めた多様な尺度・指標や測定方法に基づいて学修成果を点検・評価しているか。 【備考】	原田・伊藤	B	B	B	C	C		
	①-2 三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用	総合福祉学部 教務委員会	学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、卒業時の満足度調査、就職先の企業アンケートなどを実施し、大学が定めた多様な尺度・指標や測定方法に基づいて学修成果を点検・評価しているか。 【備考】	原田・伊藤	A	A	A	A	A	AC期間中であるので変更はないが、課題は共有中	
	②教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバック	保健医療学部 教務委員会	学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。 【備考】	原田・伊藤	B	A	A	C	C		
	②教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバック	総合福祉学部 教務委員会	学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。 【備考】	原田・伊藤	A	A	A	A	A	AC期間中であるので変更はないが、課題は共有中	
	4-1 教学マネジメントの機能性	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考	
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善		
	①大学の意思決定と教学マネジメントにおける学長の適切なリーダーシップ	事務局（学長を含む）	学長がリーダーシップを適切に発揮するための補佐体制を整備しているか。 【備考】	笹岡	A					運営会議は適切に議論しており、補佐機能を果たしている。	
	②-1 権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した教学マネジメントの構築	事務局（学長を含む）	使命・目的の達成のため、教学マネジメントを構築しているか。 【備考】	笹岡	B					使命の遂行について、改善の余地はある。	
	②-2 権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した教学マネジメントの構築	事務局（学長を含む）	大学の意思決定の権限と責任が明確になっているか。 【備考】	笹岡	A						
	②-3 権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した教学マネジメントの構築	事務局（学長を含む）	副学長を置く場合、その組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。 【備考】	笹岡						副学長は置いていない。	
	②-4 権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した教学マネジメントの構築	事務局（学長を含む）	教授会などの組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。 【備考】	笹岡	B					教授会の組織上の役割について、もう少し詳細な明文化が必要である。	
	②-5 権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した教学マネジメントの構築	事務局（学長を含む）	教授会などに意見を聴くことを必要とする教育研究に関する重要な事項を学長があらかじめ定め、周知しているか。 【備考】	笹岡	A					教授会の前に議題を整理する会議をもっている。	
	②-6 権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した教学マネジメントの構築	事務局（学長を含む）	大学の意思決定及び教学マネジメントを大学の使命・目的に沿って、適切に行っているか。 【備考】	笹岡	B					十分な議論の時間の設定について、まだ改善の余地はある。	
	③職員の配置と役割の明確化などによる教学マネジメントの機能	事務局（学長を含む）	教学マネジメントの遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確化しているか。 【備考】	笹岡	C					職員の配置転換が多く、役割の明確化には課題がある。	

4-2 教員の配置・機能開発等	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
					年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
①-1 教育目的及び教育課程に即した教員の採用・昇任等による教員の確保と配置	事務局長	大学及び大学院に必要な専任教員を確保し、適切に配置しているか。 【備考】	竹内	C					・日本医療大学教員任用規程第2条によると、「理事長は、毎年度、教員の配置に関する方針（以下「人事方針」という。）を定め、これに基づき教員の選考を行うものとする。」ことになっており、年報では当該年度の専任教員採用予定数(人事方針)と達成度を明示し、その評価ができる。 ・年報第9号p.63、6～7行目では、「専任教員数は、(中略)必要な専任教員数を確保している。」とあるだけで、具体的な数値が示されおらず学科毎に指定基準、専任教員数(年度計画)、専任教員数（実数）を示した上で、教員が確保できていることを明言すべき。
①-2 教育目的及び教育課程に即した教員の採用・昇任等による教員の確保と配置	事務局長	教員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。 【備考】	竹内	C					
②FD(Faculty Development)をはじめとする教育内容・方法等の改善の工夫・開発と効果的な実施	FD委員会	FD、その他教員研修の組織的な実施とその見直しを行っているか。 【備考】	竹内	B	B	B	C	C	年報第9号p.63、8行目からの「FD（Faculty Development）をはじめとする教育内容・方法等の改善の工夫・開発と効果的な実施」ではFDが実施されたことが示されているが、FDの見直しが述べられていないことや、授業評価アンケートの実施状況が述べられているが、その利用については触れられていないことなどから一部達成と判断しB判定とした。
4-3 職員の研修	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
①SD(Staff Development)をはじめとする大学運営に関わる職員の資質・能力向上への取	事務局管理G	職員の資質・能力向上のための研修などの組織的な実施と見直しを行っているか。 【備考】	松崎グループ長	A					昨年入職者も含め月2回SD研修実施中。
4-4 研究支援	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	備考
①研究環境の整備と適切な運営・管理	研究費審査委員会	快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。 【備考】	竹内	C	C	B	C	C	「総合評価」について研究費に特化していることから、C判定とした。研究環境には、研究費以外に設備や人員などがあるが、これらには触れられていない。
②研究倫理の確立と厳正な運用	研究倫理委員会	研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。 【備考】	竹内	B	B	B	B	C	厳正な運用について触れられていないことから、B判定とした。
③研究活動への資源の配分	研究費審査委員会	研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA(Research Assistant)などの人的支援を行っているか。 【備考】	竹内	B	B	B	C	C	研究費については触れられていることから、B判定とした。
5-1 経営の規律と誠実性	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
①経営の規律と誠実性の維持	事務局長	組織倫理に関する規則に基づき、適切な運営を行っているか。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	寄附行為や当法人の各種規程に基づき運営。
②使命・目的の実現への継続的努力	事務局長	使命・目的を実現するために継続的な努力をしているか。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	当法人の使命や目的は充分理解しており、教職員温度差はあるものの、努力は継続中にある。
③-1 環境保全、人権、安全への配慮	事務局長	環境や人権について配慮しているか。 【備考】	松崎グループ長	B	A	B	B	B	労働時間管理等労働環境整備が必要と判断する。
③-2 環境保全、人権、安全への配慮	事務局長	学内外に対する危機管理体制を整備し、かつ適切に機能しているか。 【備考】	松崎グループ長	B	B	B	B	B	定期的に緊急連絡網等整備が必要。
5-2 理事会の機能	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	備考
①-1 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制の整備とその機能性	事務局長	使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制を整備し、適切に機能しているか。 【備考】	松崎グループ長	A					R7年4月私学法一部改正に係る寄附行為変更予定。体制整備し機能改善図る。
①-2 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制の整備とその機能性	事務局長	理事の選任及び事業計画の確実な執行など、理事会の運営を適切に行っているか。 【備考】	松崎グループ長	A					寄附行為に基づき選任し、事業計画も執行中にある。
5-3 管理運営の円滑化と相互チェック	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	備考
①-1 法人及び大学の各管理運営機関の意思決定の円滑化	事務局長・総務G	意思決定において、法人及び大学の各管理運営機関の意思疎通と連携を適切に行っているか。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	定期的に事務方、大学教員、運営側との接点を図り、連携強化中。
①-2 法人及び大学の各管理運営機関の意思決定の円滑化	事務局長・総務G	理事長がリーダーシップを発揮できる内部統制環境を整備しているか。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	定期的に理事長交えた会議や弾力的な打ち合わせは適時開催。課題解決に向けリーダーシップ発揮中である。
①-3 法人及び大学の各管理運営機関の意思決定の円滑化	事務局長・総務G	教職員の提案などをくみ上げる仕組みを整備しているか。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	定期的に会議を開催。
②-1 法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックの機能性	事務局長・総務G	法人及び大学の各管理運営機関が相互チェックする体制を整備し、適切に機能しているか。 【備考】	松崎グループ長	B	B	B	B	B	相互チェック体制の構築は今後の課題。
②-2 法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックの機能性	事務局長・総務G	監事の選任を適切に行っているか。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	公認会計士を主体として選任。問題ないものと判断している。
②-3 法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックの機能性	事務局長・総務G	評議員の選任及び評議員会の運営を適切に行っているか。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	来年度の私学法改正をにらみ、適切な人選、運営を継続している。
基準項目全体に関わる自己判定の留意点	事務局長・総務G	監事の理事会及び評議員会などへの出席状況は適切か。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	開催の都度出席している状況にある。問題なし。
基準項目全体に関わる自己判定の留意点	事務局長・総務G	監事は、理事会及び評議員会などへ出席し、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行状況について意見を述べているか。 【備考】	松崎グループ長	B	A	B	B	B	監事は理事会及び評議員会に適時出席。執行状況について不明な点等は適時質問や意見を述べている。
基準項目全体に関わる自己判定の留意点	事務局長・総務G	評議員の評議員会への出席状況は適切か。 【備考】	松崎グループ長	A	A	A	A	A	開催の都度ほぼ全員参加いただいている状況。問題なし。
5-4 財務基盤と収支	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	備考
①中長期的な計画に基づく適切な財務運営の確立	事務局管理G	中長期的な計画に基づく財務運営を行っているか。 【備考】	松崎グループ長	A					当法人は健全な運営を維持するため、資金管理や適切な資金調達を実施中である。
②-1 安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保	事務局管理G	安定した財務基盤を確立しているか。 【備考】	松崎グループ長	A					適切な運営管理を継続しており、今のところ財務基盤安定。
②-2 安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保	事務局管理G	使命・目的及び教育目的の達成のため、収入と支出のバランスを保っているか。 【備考】	松崎グループ長	A					予算については適切に執行中。予算配分のバランスは必要。
②-3 安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保	事務局管理G	使命・目的及び教育目的の達成のため、外部資金の導入の努力を行っているか。 【備考】	松崎グループ長	C					現在自己資金対応中。今後検討していく。
5-5 会計	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	備考
①会計処理の適正な実施	事務局管理G	学校法人会計基準や経理に関する規則などに基づく会計処理を適正に実施しているか。 【備考】	松崎グループ長	A					公認会計士指導の下、適切な会計処理遵守中。
②会計監査の体制整備と厳正な実施	事務局管理G	会計監査などを行う体制を整備し、厳正に実施しているか。 【備考】	松崎グループ長	A					公認会計士指導の下、体制づくり構築済。

基準 6 内部 質 保 証	6-1 内部質保証の組織体制	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①-1 内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立	事務局総務G	内部質保証に関する全学的な方針を明示しているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	内部質保証のための組織が十分ではない。
	①-2 内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立	事務局総務G	内部質保証のための恒常的な組織体制を整備しているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	内部質保証のための組織が十分ではない。
	①-3 内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立	事務局総務G	内部質保証のための責任体制が明確になっているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	内部質保証のための組織が十分ではない。
	6-2 内部質保証のための自己点検・評価	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①-1 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価の実施とその結果の共有	自己点検評価委員会	内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価をどのように行っているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	各委員会における自己点検・評価が十分ではない。
	①-2 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価の実施とその結果の共有	自己点検評価委員会	エビデンスに基づく自己点検・評価を定期的に実施しているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	各委員会における自己点検・評価が十分ではない。
	①-3 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価の実施とその結果の共有	自己点検評価委員会	自己点検・評価の結果を学内で共有し、社会へ公表しているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	各委員会における自己点検・評価が十分ではない。
	②IR(Institutional Research)などを活用した十分な調査・データの収集と分析	事務局長	現状把握のための十分な調査・データの収集と分析を行える体制を整備しているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	各委員会における自己点検・評価が十分ではない。
	6-3 内部質保証の機能性	所管委員会 あるいは部署	評価の視点に関わる自己判定の留意点	評価担当者	総合評価	PDCA評価				備考
						年度計画の 策定	計画に沿った 運営	運営に対する 評価	評価に対する 改善	
	①-1 内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体のPDCAサイクルの仕組みの確立とその機能性	自己点検評価委員会	三つのポリシーを起点とした内部質保証を行い、その結果を教育の改善・向上に反映しているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	PDCAサイクルがまだ十分機能しているとはいえない。
	①-2 内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体のPDCAサイクルの仕組みの確立とその機能性	自己点検評価委員会	自己点検・評価、認証評価及び設置計画履行状況等調査などの結果を踏まえた中長期的な計画やガバナンスコードに基づき、大学運営の改善・向上のために内部質保証の仕組みが機能しているか。 【備考】	品川	C	B	C	C	C	PDCAサイクルがまだ十分機能しているとはいえない。